



熱戦を繰り広げたママ一般チームと小学生のエアリアル

**洞** 爺湖町バレーボール協会（青木佐智子会長）の平成27年度納会交流試合が、2月14日あぶた体育館で交流と親睦を目的に行われました。小学生から一般まで6チームが参加しました。

参加したのは、ママ一般、一般男子のユナイト、虻田高校、虻田中A・B、小学生のエアリアルの6チーム。

試合は、6チーム総当り戦で、大人のチームと小学生のチームが真剣勝負で戦うなど、普段見れない光景が繰り広げられました。

試合終了後は、和気あいあいの中で昼食の豚汁を囲み、1年間の活動を締めくくりました。

## バレーで世代間交流 町バレーボール

## 洞爺国際交流協会創立25周年記念 青年を育む活動から学ぶ

**長** 年英国のボランティア青年を受け入れてきた洞爺国際交流協会が、2月20日、創立25周年を記念して、派遣元のイギリスにあるプロジェクト・トラストとの懇話会を開きました。

会員約30人が参加し、25周年の会の歴史を振り返りながら、同トラストの国際活動について理解を深めました。

当日は、海外担当理事のジョン・フレーザーさんから講話があり、プロジェクト・トラストの理念として①若者を育てる②コミュニティへの貢献などをあげ、教育、仕事、自分への自信、考えることなど、プロジェクト・



創立25周年の懇話会

トラストの活動が、青年に及ぼす影響の大きさを述べました。

## 冬めぐり周遊バス運行 外国人観光客へおもてなし

**増** 加する東アジアからの観光客に対し連泊などを促そうと、「春節」の時期に合わせて、洞爺湖町と壮瞥町の合同企画「洞爺湖有珠山ジオパーク 冬めぐり周遊バス」を運行しました。

期間は、2月7日～20日までの14日間で、洞爺湖温泉や昭和山など西胆振1市3町の観光スポットを巡るルートです。

予約制でガイド付きの「ジオパーク号」を、前半の7日～13日、1日1便運行。後半の14日～20日は、「カルデラ号」が、予約不要で1日5便運航しました。

期間中の乗客数は、ジオパーク号が、22人。カルデラ号は、415人となりました。



周遊バスに乗る外国人観光客

**民** 生委員児童委員を対象にした認知症サポーター養成講座が2月23日、



認知症の理解を深める民生委員児童委員の皆さん

役場防災研修ホールで行われ、同委員20名が出席して、認知症についての理解を深めました。

認知症サポーターは、認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく見守り支援する応援者です。

民生委員児童委員の皆さんは、サポート制度や認知症の諸症状を学び、受講修了者として、オレンジリングを受け取りました。

地域に向いての養成講座も実施しますので、健康福祉課介護保険グループ（☎74-3001）か地域包括支援センター（☎76-4822）に問合せください。

## 認知症の理解深める 認知症サポーター養成講座開催

